

平成 25 年度 第 10 回 社会福祉法人函館厚生院 函館中央病院 治験審査委員会
会議の記録の概要

| | |
|--------------------|---|
| 開催日時 | 2014 年 2 月 4 日(火) 18:00～18:15 |
| 開催場所 | 函館中央病院 会議室(病院南棟 8 階) |
| 出席委員名 | 藤本俊郎、保科大地、高橋千尋、北田秀昭、久米央子、 三橋鈴代、横山基樹、西山義昭、水島貴之、山崎英二、永盛恒男 |
| 議題及び審議結果を含む主な議論の概要 | <p>【審議事項】</p> <p>議題① 第一三共株式会社の依頼による虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S の第Ⅲ相試験 新たな安全性情報報告及び、治験薬概要書改訂について、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果 承認</p> <p>議題② 興和株式会社の依頼による HMG-CoA 還元酵素阻害薬で治療中の患者を対象とした K-877 の長期投与試験 新たな安全性情報報告及び、治験実施計画書・同意説明文書改訂について、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果 承認</p> <p>議題③ MSD 株式会社の依頼によるビタミン D 及びカルシウム投与下での閉経後骨粗鬆症女性における、骨折リスク軽減に関する Odanacati(MK-0822)の安全性及び有効性評価を目的とした第Ⅲ相無作為化プラセボ対照試験(018 試験)の追跡観察試験 新たな安全性情報報告に基づき、追跡調査を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果 承認</p> <p>議題④ グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による日本人の 2 型糖尿病患者を対象として、2 用量のアルビグルチドを投与した際の有効性および安全性を検討する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同、単独療法投与試験 変更に関する変更申請に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。 審議結果 承認</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告① 大日本住友製薬株式の会社依頼による糖尿病末梢神経障害患者を対象とした AS-3201 の第Ⅲ相試験 治験実施計画書からの逸脱と変更申請について報告された。</p> |
| 特記事項 | 紺野委員長欠席のため、藤本副委員長が委員長代行した。 |